

平成26年度入試【推薦入試Ⅰ】

【小論文】

(法文学部 社会文化学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は6ページである。解答用紙は2枚、下書き用紙は3枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

- 1 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(セン『不平等の再検討』)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(岡本裕一郎『12歳からの現代思想』より。一部改変。)

問 世の中には様々な不平等が存在していますが、その一方で不平等な状態を是正しようとする様々な取り組みも行われています。

不平等是正のために現在実施されている取り組みの具体的な例をひとつあげ、それはどのような観点からの平等をめざしたもので、またどのような観点が排除されているのかについて 350 字程度で述べなさい。

- 2 次の文章は、『私とは何か―「個人」から「分人」へ』という本の一節である。この文章を読み、後の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(平野啓一郎『私とは何か—「個人」から「分人」へ』より。一部改変。)

注

ペルソナ：心理学で、外界へ適応するために必要な、社会的・表面的人格をいう。

問 この文章で、著者は「分人」という新しい概念を提起しています。

この「分人」という概念を用いて、以下のような悩みをかかえるAさん、Bさんに対してアドバイスをしてください。なおアドバイスはそれぞれ300字程度で述べなさい。

Aさん：親や先生は、「将来の夢はなにか」、「将来どんな職業に就きたいか」と聞いてくる。でも本当の自分とは何なのかわからない。だから自分が将来、何をしたいのか、何をすればよいのかわからない。

Bさん：子どもの頃から繰り返しいじめを受けてきた。きっと私はいじめに遭いやすい人間なんだと思う。これからもずっといじめられるのかと思うと、生きていくのが辛い。